



ニュース

2009

no.87

2009年12月22日

県振連メールアドレス

isirengo@angel.ocn.ne.jp

商店街賑わい創出に関する掲載原稿、ご意見、ご感想などお待ちしております！

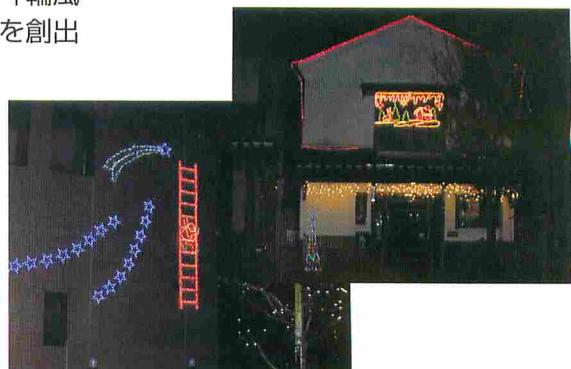
輪風のまち・輪島を彩る イルミネーションでおもてなし

輪島市の馬場崎商店会では、11月12日にイルミネーションの点灯式を行い、街路樹や店舗に取り付けられた色とりどりのイルミネーションが商店街を幻想的にライトアップしております。

同商店会を通る馬場崎通りは、道の駅輪島から朝市通りに通じる輪島の観光の入口であり、街路整備をきっかけにした地域住民によるまちづくり活動として、輪島独自の伝統様式「浜屋造り」など輪島らしさを意味する「輪風(わふう)」を街並みづくりのコンセプトとし、歴史を感じさせる景観を創出しています。

また、同商店会では、「季節を感じる やさしい街づくり」を合言葉に、四季折々の飾りつけやイベント等を行い、このイルミネーションも、訪れる人々へのおもてなしの心をカタチにしたもの一つです。

このイルミネーションは来年2月末まで、原則、午後5時～午前零時まで点灯されます。



輪島市商店街連合会

農商工連携フォーラム in 富山 ~農林漁業者と商工業者の融合が新ビジネスを生む~ (商店街ニュースNo86に続く)

第1回農商工等連携事業計画認定事業の紹介(フォーラムの資料から)

平成20年7月21日農商工等連携促進法が施行されました。第1期65件が認定されており、中部・北陸地域は6件(石川県1件、富山県2件、名古屋市1件、三重県2件)。

① カットした石川県産野菜を中心にスチーム・ベジタブル化(加熱加工)した商品の製造販売

(川北町)(認定:平成20年9月19日 4-20-006)

中小企業者:株式会社セイツー

農林漁業者:有限会社くらた農産

急速冷凍加工による消費期限の長期化と外食産業等での野菜カット、ボイルなどの手間を省き、素材本来の栄養価を損なわずに野菜の色を保持する優位性で競争力強化と新市場開拓をおこなう。

② 高機能ハトムギエキスを加えた新しい「はとむぎ茶ゴールド」の製造販売

(水見市)(認定:平成20年9月19日 4-20-004)

中小企業者:株式会社J Aアグリひみ、株式会社C R D

農林漁業者:水見市農業共同組合

連携参加者:株式会社ベルブリッジ、N P O法人代替医療科学研究センター、ニットトービパラレッジ株式会社

焙煎技術の向上によりハトムギの食味を大幅アップさせ、ハトムギエキス、葉酸、ビタミンB6、ビタミンB12の添加により薬効が相乗的に向上した健康飲料としてブランド化。

③ 氷見の海からできたワイン生産及び関連商品開発・販売

(水見市)(認定:平成20年9月19日 4-20-005)

中小企業者:株式会社釣屋魚問屋、有限会社シーフード北陸

農林漁業者:株式会社T-MARK S、有限会社日の出大敷

耕作放棄地を利用したぶどう栽培、廃棄されていた雑魚を肥料に加工し活用、販売は大手に固有のチャンネルを持っている社と連携、ワインを新たな氷見ブランドとする。

④ 乳業メーカーの殺菌・衛生管理技術を活用した高品質なシラス製品等の開発・製造・販売

(名古屋市)(認定:平成20年9月19日 4-20-001)

中小企業者:武儀商事株式会社、中部乳業株式会社

農林漁業者:高橋久二

連携参加者:日間賀島漁業協同組合

加熱水蒸気を利用した殺菌処理を行ったシラスの商品化。お互いの強みを活かし連携した事業

⑤ 尾鷲特産の甘夏みかんと、みえ尾鷲海洋深層水の塩で作る体にやさしい「夏柑塩」シリーズの製造と販売

(尾鷲市)(認定:平成20年9月19日 4-20-002)

中小企業者:おわせ深層水しお学舎株式会社

農林漁業者:N P O法人天満浦百人会

連携参加者:三重県工業研究所、三重県立相可高等学校

甘夏ミカンを皮ごと使用したブレンド塩開発で連携。

⑥ 日本初のタブノキから抽出したエキスを原料とするリキュールの製造・販売事業

(鈴鹿市)(認定:平成20年9月19日 4-20-003)

中小企業者:神楽酒造株式会社

農林漁業者:近藤緑化株式会社

連携参加者:株式会社J T B中部

タブノキエキスをアルコールで抽出した液体を原料とする新酒の開発。J T Bによる販売企画・販路開拓。

TOPIC
1

玉川町通り商店街（金沢）、地域コミュニティの輪の結晶 ～直線まつり・今年20年目むかえる～

11月8日（日）玉川こども図書館オープン一周年にあわせ、おまつり始まる。お祭の名前は今までとなんら変わらないが、しかしその中味は、驚くほどの進化をとげていました。

近年とみに話題となり、先頃施行された新法の要となっている地域コミュニティの担い手としての商店街の役割をみごとに果たしており、地域の様々な人たちと連携・協働し、まちなかが公共空間として精一杯活かされていました。

でも、何にもましてすばらしいこと、それは、商店街の人たちやおかみさん会の人たちが地域に溶け込んで楽しんでやっていること、それに地域の様々な人たちが参画した、お祭を地域の人みんなのものとして立ち上ったことです。スケジュールの時間配分もとざされることのないよう細心の注意が払われています。また通りのいたるところにおやすみ処を設け、入り口には、新インフルエンザ対策にスプレーが用意されており、用意周到万端整えた商店街の人たちの心配りには感謝です。

おまつりが、地域団欒を演出されるよう、会場には工夫がいっぱいです。子ども縁日に興じる親と子、子どもネイルアートに目を見張るお母さんたち、泥団子をつくろう、でツヤだに苦労しているお父さん、フェイスアートでお互い見やっこしている子どもたち、たまちゃんハウスでどんぐり・木の実でうめたまづくりに余念がない親と子が商店街おかみさんや児童館の方と会話しながらの手づくりに地域をあげて楽しんでいます。

通りには、移動販売車の出動。お昼時長い列をつくります。メロンパン、モグモグ黒いやき、カレーライスに肉まきおにぎり、やきとりも登場。商店街の魚屋さんでは、お祭の特別出品。「鍋にするお魚はある?」、「たらがいいよ!」、「小家族だし」、「たらの切り身でどうかね?」、お客様と店主の会話かいづまでも続く。

今日で3回目。朝採れ野菜市。金沢山里朝市回廊連絡会4会員の協力で実現。医王山の特産を使った草だんご汁など各市の推奨品が並びます。車イスの人もかきもちの買い物です。乳母車できた若いお母さん方は、葉付き大根や金時草を手にしています。

会場では、大道芸人・ジョニーさんが、図書館と商店街の間を行ったり来たり、



来街者を誘導します。時々立ち止まつては、いろいろな動物に見立てた風船を子どもたちにプレゼント。風船を手にした子どもたちが図書館と商店街の間を行ったり来たり、流れができています。

交通整理の女性は、来る人ごとに声掛けしてくれています。「久しぶりやね」「ゆっくりお祭見ていってね」、まちが暖かになります。

11時を過ぎる頃、手に手に風船を持った親子づれ、両手に袋いっぱいに朝市の野菜などをさげて帰っていく主婦、おばあちゃんのカーゴは、葉付き大根が外にはみ出しています。

子どもからお年寄りまで、商店街の路地のあちこちからどんどん入ってきます。自転車に乗ってくる人、銀行の人がお世話をしているフェイスペイントイングされた子どもたちが通り過ぎていきます。青地に背に赤の祭の法被の人、たまちゃんエプロンのおかみさんたちが行き交うなか、どこもかしこも人、人、人。

午後のひととき演奏ステージで、なつかしのフォークソングが次々と披露される。商店街の人、おかみさん、地域の人もその仲間に加わり、いっしょに歌いだす。玄の調べにあわせ、「風にふるえる、緑の草原・・・」さわやかな歌声が通りにつれます。車椅子でこられたご婦人も聞き入っています。アンコールの声。歌は尽きることはありません。

午後3時、待ちに待った恒例のbingoゲーム。「うめたま風船集合。豪華賞品に・・・」アナウンス。会場は、人の波。39、75、24、2、58、リーチ、bingo。おめでとう。豪華な賞品、地デジテレビです。次々に商品をゲット。

正午すぎ、演技場で「グッドマナー宣言」がありました。90番目の締結です。「美化清掃もグッドマナー、ぜひ実践を。グッドマナーで地域が元気、おめでとうございます」。お店の前にあるお花のプランターには、「グッドマナーはあなたから」、「きがねなあ、かさだかなあでグッドマナー」などなどのプレートが付けられています。理事長と奥様が夜通し作った手づくり品です。おみごとの一言に尽きます。

終日、玉川町通りは、地域コミュニティの輪が結集した、にぎわいあふれるまちなかのおまつりでした。

TOPIC
2

「朝市元気まつり」～株洲飯田2・7朝市に新風～

株洲飯田に流れる若山川の土手に咲き誇るすすきの穂が朝陽をいっぱいに浴び、こがねいろに輝く、そんな心地よい秋日和の日。いつもと変わらない和やかな静かなまち並みに朝の目覚め。恒例の2・7朝市の日、しかし新しい形の「いち」としての様々な試みの第一日が始まる。株洲飯田を象徴するまちの「顔」として機能し、まちなかに賑わいを創出するためにもこれからもずっと継続発展していくよう新しい形態の「いち」を模索することになったのです。朝6時過ぎには、近郷の女性たちが採れたての野菜などを次々に運び入れ、地べたに並べ、さあ!「いち」の始まりです。

朝市は、株洲飯田を象徴するまちのシンボルとして、また地域の人たちの生活を支える大切な「いち」として機能しています。近年出店される女性たちもそろそろ高齢をむかえています。「〇〇さん、いつも来ているのに、今日来ていないね」、「どうしたのかね」を聞くにつけ少しあいだを察するようになりました。

今日は「朝市元気まつり」。まちなかの更なる賑わいに、地域の大切な財産としてこれからも継続してその機能を充分に発揮していくための新しい試みです。

第一日目となった今日、10月17日はその取り組みの初体験の日となりました。地域で頑張り、地域を支える個性あふれるお店の人たちとのコラボレーションがここ朝市で実現しました。イベントをとおし地域の人たちとの協働がつくりだす相乗効果はとても大きい。

「うまいもん横町」では、市内有名スイーツ店、メルヘン日進堂さん、シュークリングラスさん、シャボールさんの3店のごだわりの洋菓子、バウム、シュークリーム、パンなどに人だから、たちまちの内に売り切れも出、うれしい悲鳴です。

「水産物コーナー」。浜口さん、浜野水産さんのご協力で赤魚、ホッケの干物をはじめ株洲めかぶ、あかもく、かじめ、あごだしなどの出品。商店街の松田商店さんはからは八目うなぎの特売もあり、めずらしいものにあっちこち目移りします。

「交流施設狼煙コーナー」。株洲特産大浜大豆のとうふ、おぼろ、豆乳をはじめとうふドーナツも販売され、さっそく朝ごはんの汁ものにと持って帰る主婦が行列をつくります。

「梅コーナー」。若富喜会の女性の手づくり梅干、梅ジャム、しその実の佃煮、田舎煮、金糸瓜など。ゆずかんろ煮、「これはおいしい!」と、つくり方を熱心に聴くお客様、根づよいファンも多い。

「手づくり小物コーナー」「リサイクルコーナー」。シルバー人材センターワークショップによる、手づくりリップ、布バックをはじめ能登きり細工、積み木やリサイクル商品に品定める人手であふれる。

「いち」の女性たちは、季節を今盛りのりんご、かき、なしなどの果物を並べます。完熟した香気があたり一面に漂っています。やまいも、里いも、ごぼう、大根、白菜、ねぎ、にんじん、ピーマン、ほうれん草、れんこん（これも地元で採れたもの）などなどみんな日常の台所でお目にかかるものです。売るほうも買うほうもみんな生き活きした表情に笑顔が映える。口もつい軽くなり遠慮なくながながとおしゃべりをきめこむ。それを面倒がらずに笑顔で手振り身振りで応対する光景に感激。



商店街では、「いち」に新しい風を入れるとともに、まちなかの賑わいに貢献するため、「100円SHOP」をおこなう。今回が2回目。商店街のみなさんは、出店する商品はどんなものがふさわしいか、自店の商品を100円で売り出すと損を覚悟で売ることになるに、という声もあります。また食べものを外に出すことに躊躇、という声もあります。売り出しチラシの印刷費分の代わりと考えれば、損して得を得る、という声も多く聞かれようになりました。100円SHOPの極意（商店街ニュースNo.85・09年6月30日刊）は3つです。一にいわく、100円商品は外に陳列すべし。二にいわく、外でお客様と会話すべし。三にいわく、100円商品の精算は店内ですべし。お店の側からは、100円商品以外の通常商品をいかに売るかを考えることがコツのようです。さあ!結果はどうだったでしょうか。

論より証拠とばかりまちなかに出てみました。どのお店も随所に工夫を凝らしており、つい買いたい人に手が出・・・次々買いたいものの連続。いつの間にやらまちなかを隈なく歩いていました。玄米コーヒーとヨモギ青汁で健康を売りもののお店やまち歩きの食べ歩きに使ってこいの肉入りコロッケ、シュークリームに大福、駄菓子にポン菓子、果物。

手造りシュー。「これは?」、店主から、「これは毛糸で編んだ腕輪です」。納得です。ボックスに、手造りのわしとあります。聞くところによると、おばあちゃんが毛糸を編んでつくったものとか。洗剤要らずで油よごれの茶碗洗いにはもってこい。環境に優しい商品です。肩のお手入れからネイルケアまで登場。いろんな知恵ができるものだなあ、と感心しきり。折紙。印刷の端分だと。これで折り紙楽しもうと買っていく親子づれ。当日の「お楽しみ」のお店もあり、多彩な発送で、みなさんの知恵の出しどころ。ついついお店の中へ足を入れることになりました。一回で成功、これで終わるということはありません。100円SHOPは意識改革の代名詞です。ちょっとずつ、ちょっとずつ、みなさんと一緒に考え続けていくことが肝要とか。

お店のなかには、山下祥子さんたちほか7人の株洲焼女流作家展もあり、壺、茶碗、急須などに女流作家ならではの繊細なこころが作品にみちあふれています。先頃、夢のと2号館「株洲焼ギャラリーショップ」が開店したこともあり、いろいろな作家さんの個性を楽しみながら株洲焼を身近に手にできるようになりました。車で遠く足を運ばなくても、みんなが住んでいるところでゆったり落ち着いてまちを楽しむことができ、地域固有の魅力に満ちたコミュニティ空間づくりが遺憾なく発揮されています。

お昼時、お休み処「だんだん」でさくさくの新米株洲こしひかりの炊き立てのごはんをぼおぱり、とれたての魚のフライにお野菜、具だくさんのみそ汁などに身も心も大満足の一日を楽しむことができます。

地域で頑張り、地域を支える人たちを加えた2・7の朝市の新しい形態の試み、100円SHOP、株洲焼展をはじめ様々なイベントを同時開催するなどして、地域の人どおしのコラボをつくりだす相乗効果はとても大きい、と実感・痛感した次第です。



武蔵スタジオ通りモール化10周年記念「Welcome to!!マイスター・アベニュー」

~武蔵商店街(金沢)スタジオ通りから、ブティック、エステ、金沢の工芸品金箔店、フランス料理・和食店、和菓子屋、などのこだわり専門店が
数多く集結する、魅力満点の商店街を発信「近江町いちはな館」とは一味も二味も異なるまちなかの魅力を演出し、中心市街地に更なる賑わいを創出する~

通りの片側を交通規制し午前11時スタート。金沢ゆかりの世界的化学者高峰譲吉博士の功績を紹介するブースでは、来春、石川・富山で先行ロードショーされる「SAKURA SAKURA～サムライ化学者高峰譲吉の生涯～」の紹介PR、訪れた人たちも熱心に聞き入っています。

足元には、さりげなく「スタジオ通り10周年～これまでの歩み～」として、セビア色の商店街、昭和初期にタイムスリップ、「荷車、風鈴売り、夏の行商人たち」をはじめスタジオ通りフリーマーケットにぎわいの写真展示もあり、こだわりの商店街の一端を垣間見る。

お昼時、通りの飲食店が一堂に集結、「スタジオサタディ食堂」では、温かい山形のなめこを練りこんだおそば、まつたけごはん、おでん、サンドイッチ、洋食弁当、どんぐり弁当、ぜんざい、うなぎ丼にふきみそ、ふきのとう、マツタケ粒漬けなどの佃煮もあり、たちまちのうちに売り切れとなりました。オープンカフェの6つのテーブルは食事をしながら会話を楽しむグループで一杯です。

「Welcome to!!スタジオストリート」の表示案内のある24の専門店では、それぞれのお店のこだわりの、味のある逸品販売や体験実習をしています。江戸かばやき、五郎島金時入りふまんじゅう、お徳用駄菓子、金箔入り梅昆布茶の詰め放題をはじめ振袖体験、奈イル体験、健康グッズ店では血流の測定会、和菓子づくりなど様々な趣向をこらしたものばかり。来街者が次々とお店の中に入っています。

「マイスター・アベニュー24スタンプラリー」に参加した親子づれは「観葉植物」を手に、「どこで食事しようか」、「江戸かばやきにしよう」、笑顔でお店の暖簾をくぐります。この日のための特別メニュー、セールで終日どごも人の列。

お昼過ぎを過ぎた頃、来街者の入れ替わりがはじまります。近江町市場とスト



リート内の通り抜け通路や、Tビジネスプラザ武蔵口から入ってくる人で午後の始まりです。

ストリートは、表通り（国道）の裏手にあるものの、にぎやかな話し声や案内表示に、エムザや近江町市場に訪れた人が次々に入ってきます。スタジオ通りを取り囲むように表示案内があり、「こんなところで、おもしろいことやっているのか」、「まち歩きを楽しむことが出来る」と近隣のお年寄りの声。近くにいても案外知られていない、アベニュー通り、気づきの効果高く意義を感じました。

オープンカフェでは、午後の陽光をいっぱいにうけ、ストリートミュージックの流れるなか、仲間との楽しい会話が弾みます。

路地中にあつたフリーマーケットもネイルアートも、午後にはストリートに並ぶ。山と積まれた葉付き・泥付きの大きな玄助大根、あつという間に売り切れ。

フリーマーケットでは、手づくり品や古着などを相手に楽しい会話が繰り広げられています。「あなたとは、どこかでお会いしたことあるね」、「すぐ近くの○○のマンションに住んでいます」、「まちなかでこんなおもしろいことあると楽しくなるね」、「これは趣味でつくっています」、「買っていいって」、「うちで教室やっているから1回来て見て」、会話が途切れることなく続きます。

表通りとは、一味も二味もちがって、なごやかな雰囲気での店主とお客様との会話にはじまり、ゆったり、のんびりした気分を、買い物に体験にと、マイスター・アベニューにふさわしく、個性豊かに演出していました。



財団法人東京都中小企業振興公社主催
平成20年11月17日

中小小売商業活性化フォーラム「第4回東京商店街活性化グランプリ」

「魅力ある「みせ」活力あふれる「まち」に挑戦」をテーマとし、都内商店街の優れた取り組みを紹介、表彰し、その魅力を発信するとともに商店街の励みとしてもう事業。「新しい価値を創出し、お客様の心に届ける経営と活きる地域づくりをめざして」と題し、地域とお客様に密着した経営で日々商いをしている商店主から、自らの経営と地域活性化への想いを語る。

第1部

講演1 「八百屋は物売りにあらず～お客様にアテにされる商売を実践～」

東陽商店街振興組合(江東区)副理事長 野本要二氏 八百周店主
「八百屋は食べもの屋であれ」をモットーに来年で50年を迎える。安いものではなく、自分が食べてみて納得するものを売るかを実践している。小学生までのサツマイモ収穫体験、料理教室では地元野菜店とタイアップし、食材知識と料理教室を行っている。店頭には「やさい・くだものよろず相談所」のフラッグを掲げる。お客様から得られた情報を次のお客様に備えていく、その中継としての役割をもつ。これを機にお客さまと会話を始めるきっかけを持ちお客様と接する場面をたくさんつくっていくことが大切です。桃太郎トマトにも旬がある。時期や調理方法によって一番美味しい立地や種類が異なる。お客様の要望に応えるため、多種類を揃え販売している。そのためには、「産地を育てる」ことは重要。産地農家に全品買取約束するなど、信頼関係を築くことがコツ。一国一城の主となつてはダメ。将来的には、協業化、共同経営、共同仕入が生き残り策か。「八百屋ナビ」模索中。避けは通れない。

平成13年から1月1回「八百屋塾」を開いた。この勉強会を通じて次代の若手を育成しつつ八百屋店主をヨコにネットワークさせ、八百屋の生き残り策を考えていく。

講演2 「小さなお店で大きな実績～情報発信に注力、お客様との強い信頼関係を構築～」

池谷健治氏 羽衣商店街振興組合副理事長 まさごろ鎧茶本舗狭山園
お店にお客さま手づくりの「エコ茶んドール」を販売しています。中に乾燥したお茶殻が入っています。丹精を込めて作ったお茶もお茶殻として捨てられてしまします。こんな声に応えて、お茶殻を堆肥化、配布したり人形に活用しています。「飲んだ後のお茶殻を持って来てください。スタンプ2枚と交換します」。モノの裏には、人がいて、そこには、ものがたりがあります。そのものがたりが付加価値となり、売上につながっています。

商店街スタンプ会

- ・9店舗ラリー、3店舗ラリーセール
- ・日本茶と和菓子の日、パワーチップ3倍クーポン券(複数店舗との連携・客を共有した相乗効果)
- ・「立川エキュート」オーブンに「ハローチップ便乗セール」(大型店レシート持参)実施(大型店の題性を販促に活かす)
- ・蔵出し市、歳末セール「パワーアップクーポン5倍セール」など

スタンプは、まんざらではない、常に仕掛け訴え続けている。お客様とのつながりをつくっていかなければ、スタンプはうまくいかない。

「おしゃべり情報誌、はごろもWa!Ha!Ha!」では、スタンプ抽選会の当選者の笑顔を掲載しお客様とのコミュニケーションをはかっている。

スタンプやサービスデスク、チラシ、ポスターをフルに活用し、店頭での対面コミュニケーションを大切にし、消費者と生産者、地域のひとたちとお店を取り結ぶことがお店にとっての重要な役割です。

第2部 第4回東京商店街グランプリ (G:グランプリ賞、優:優秀賞、準:準優秀賞)

●イベント部門

イベント部門28事業、活性化部門27事業の合計55件の応募があり、その中から各部門5事業がノミネートされました。

G 第33回かしまつり 東麻布商店会

手作り・自主運営・地元客参加をモットーに、地元在勤者や主婦、子どもたちと協働してきた34年の歩みを振り返り、今後も地域の核として取り組みたい、との抱負を語る。

優 2007新宿エイサーまつり 新宿駅前・大通・東口、歌舞伎町の商店街振興組合

新宿7会場でエイサーを披露。4商店街共同開催の成果。

優 北沢音楽祭 下北沢商店連合会

「音楽のまち」の特性をまち全体を会場としたイベントに進化。

準 立川の夏・祭 立川南口商店街連合会

おらほせんがわ夏祭り 仙川商店街協同組合

●活性化部門

G 再来！東海道品川宿10万人のお宝探し

北品川本通り商店会、北品川商店街協同組合、京急新馬場商店街振興組合 若手が企画した「品川小判」を活かして、今後も品川宿の特徴を活かしたとりみを進めていく、と決意を述べる。

優 空き店舗の活用と共通ポイントカードの発行による地域コミュニティの形成 池袋本町中央通り商店会、池袋本町通り商店会、ふれあいロード北池、池袋協和会4商店街、NPO、ボランティア団体によるコミュニティセンターを運営。高齢者対象の茶話会、友好都市の物産展などの開催、ボランティア活動の拠点として活用。

優 あおよこタチャン 青物横丁商店街振興組合 携帯電話を用いた顧客情報管理システム導入。顧客が貯めたポイントを自由に使い独自の販促活動を実施することができます。メール配信による効果的販促で効あり。

優 レンタルB.O.X学園坂 学園坂商店会 地域の方々とのふれあいの場の提供、壁一面に71個の箱型ボックスを並べる。出店者は質料のみ。イベントのないときでも来街者がふえ、商店会と地域を結ぶ拠点機能發揮。

準 鏡関連イベント 和泉明店街

(その他)

- ・錦糸町河内音頭 錦糸町商店街振興組合
- ・すずらんフェスティバル 南阿佐谷すずらん商店街振興組合
- ・第9回演歌まつり＆エイワ踊り 方南銀座商店街振興組合
- ・いたばし商店街ふるさとまつり ハッピーロード大山商店街振興組合他5商店会
- ・子育て支援 幼児障害物競走イベント 谷中銀座商店街振興組合
- ・エルロード商店会&若葉ケヤキモール子育て応援マップ事業 エルロード商店会
- ・品川区商連大商業まつり2007 品川区商店街連合会
- ・手作り飴コンテスト 協同組合立石仲見世共盛會
- ・秋のお買物スタンプラリー 金町しようぶ通り商店会
- ・鬼太郎モニュメント復活祭り 天神通り商店会
- ・ふるさと夏祭り 百草団地商店会
- ・まちもりカフェ 世田谷駅前商店街振興組合
- ・コスモステーションカワジマ げんき村 川島商店街振興組合
- ・元気はつらつ！太極拳健康体操事業 桜台北口商店会
- ・ホリデーフロムナード「浴衣で銀ぶら2007」銀座通連合会
- ・名作の舞台を訪ね「橋づくし」を歩く 新富商榮会
- ・クリスマスイルミネーション装飾事業 高円寺パル商店街振興組合
- ・08玉川学園 翳めぐり 玉川学園商店会
- ・個だわりすみだ発掘隊 墨田区商店街連合会
- ・柴又ご自慢お土産・グレメ冊子作成事業 柴又神明会
- ・靖国打ち水週間 北神実業会
- ・ゆうてんじ夏祭り2007 五本木一丁目商店会他3商店会
- ・第15回豊島カッパまつり カッパまつり連合商店会
- ・日暮里・舎人ライナー開通記念イベント「祝賀星の市&尾久ライナーフェスタ」OK-kom(おぐくも)商店街活性化協議会
- ・マイバックキャンペーン2007 ダイヤ街商店協同組合
- ・第2回たき祭り 旭が丘商店会連合会
- ・文京区タウンガイド制作事業 文京区商店街連合会
- ・地域通貨「アイボイント」の利用による良好な商業環境の整備 池袋西口駅前名店街他5商店会
- ・女子高生とのコラボ「十条まち歩き・商店街マップ」製作 十条地区商店街振興協議会
- ・緑のカーテン はずねロータス商店会
- ・高原の涼風プレゼント！ 柳原商榮会
- ・商店連携による小山町・小山ヶ丘地域ガイドマップ制作事業 小山商榮会
- ・もうやめよう 歩きタバコ キャンペーン 国立東坂下商店会
- ・地産地消を応援する「とれたの」と地域ブランド創出 富士見台名店街連合会
- ・思い出横丁・焼き鳥横丁』共同トイレ改装工事 新宿西口商店街振興組合
- ・もったいないB.O.X 西蒲田商店街交友会
- ・永遠しあわせ通り 永福町商店街振興組合
- ・マイバック推進運動 東田町バス通り商店会
- ・赤羽ラ・ガ・ガーデンのすぐもの 赤羽スラン通り商店街振興組合
- ・「しあわせ通り～荒川区商店街の歌～」荒川区商店街連合会
- ・商店街インフォメーション発信事業 萩町本通り商店街振興組合
- ・大型町物産フェア In弁天通り商店会 弁天通り商店会
- ・商店街イルミネーション 南大泉商愛会
- ・冬の名物詩「街を彩るイルミネーション」赤羽商店街連合会
- ・光の祭典2007 竹の塚東口商店街振興組合他4商店会

「安全・安心なまちづくりに向けて ～明大前商店街振興組合の挑戦～」

東京・明大前商店街振興組合 本杉理事長による講演
平成20年度第2回都道府県振興員講習会から（平成21年1月26日開催）

①はじめに

新宿・渋谷など大商業集積地に近く、狭い道路、鉄道による街の分断、客足が明治大等の学生・生徒が中心となっており学校が休暇に入ると客足は、激減、厳しい経営を余儀なくされる。このままでは、立ち遅れるとの危機感から4商店街で平成7年明大スタンプを発足。スタンプ発足を契機に4商店街合併し、平成8年11月組合が設立された。（世田谷区内最大の320店舗）

②ピースメーカーーズ

世田谷区最大の駅であり、痴漢や空き巣など多発ワーストワン。地元住民と商店街との消費者懇談会においても、生命、財産に対する不安を訴えるケースが多く、安全安心のまちづくりを商店街のコンセプトとしパトロール隊編成が喫緊の課題となる。

○MP発足

- ・平成13年10月 10名のボランティア隊員で即日パトロールを開始。
- ・平成14年4月 駅前に民間交番完成（日本初）

○活動の状況

- ・民間交番：専従者が毎日9時から17時まで勤務。
- ・小学校へ警備活動：登校時に安全誘導、「あいさつ運動」で見守り実施。5~6人
- ・学生に度特啓蒙活動
- ・防犯パトロール活動：2~3人で1班編成、2チームでパトロール
- ・青バトカー導入：平成19年5月（日本財団から寄贈）
- ・特別出動：隊員は、45人確保。商店街関係者以外も多数。

○成果

- ・平成15年4月NHKで放送され、大きな反響があった。パト服があつという間に80万着（20億円）売れる。
- ・平成16年犯罪減少、激減。地元の消費者が安全安心の明大前商店街で買い物しようか、との声多数聞くようになる。
- ・平成20年度内閣総理大臣賞・警視総監賞、その他多数受賞

○どんな風にまちは、変わったのか。

- ・女性客が、夜間明大前で降車するようになる。
- ・明大が、安心安全なまちとして定着した。結果、不動産業者がこの地に6倍に増えた。
- ・まちの人から、“おひねり”が。

○7年間継続実施できたポイント

- ・1週間に1回以上は出勤する。
- ・1週間最大でも3回以上は出勤しない。
- ・自分のお店が閉店する時間にあわせて出勤する。
- ・女性は、2~3時、3~4人で出勤する。
- ・最もうれしかったことは、小学生への犯罪がほぼゼロになったこと、目に見える形で効果があったこと、これが無ければ隊員の継続力もなかつたと思う。

講演「地域を元気にするコミュニティビジネス ～商店街の活性化をめざして～」

有限会社コミュニケーション総合研究所
代表取締役所長 細内 信孝氏

これらの商店街やお店・まちづくりには欠かせない、社会的企業としてのコミュニティビジネス（以下、「C・B」という）の役割、機能、発展、進化させるためのポイント、成功事例、ヒントや着眼などを学ぶ。（平成21年9月16日（水）小松商工会議所で）

①はじめに

最近、日本でもとみに地域間格差が広がっている。この格差をどう埋めていくか、また勝ち残っていくか、そんな中でC・Bとどう取り組んでいくのか。

地域の困った問題をビジネスを用いて解決していく。自分のお店だけがもうかればいい、という時代は終わった。商店街は、生活サービスを提供する場として捉えなおしていく。C・Bは、自らの地域を元気にする住民主体の地域事業。こういう風にC・Bを捉えて欲しい（長野信州新町商店街が展開する「ふるさとセレモニー」などの事例）。

②C・Bの特徴

- ・住民主体の地域密着のビジネス
- ・必ずしも利益追求を第一としない、適正規模、適正利益のビジネス
- ・営利を第一とするビジネスとボランティア活動の中間組織的ビジネス

③C・Bの発展・成長のプロセス

①「クラブ」が出発点

地域の問題に気が付いた人が行動をおこしていると、仲間が寄ってくる。「顔の見える関係」が必要。

②「協同組合的組織」

クラブが3年も続くと、企業組合、NPO、中間法人となっていく。

③「社会的企業」

さらに地域で必要とされると、ソーシャルエンタープライズに変わっていく。地域の「クラブ」、「協同組合的組織」を助成し、社会還元するため、利益をコントロールするマネージャーが必要となってくる。

この三者が相互にバランスよく多数存在するようになると、環境に強い地域コミュニティとなり、地域力が生まれてくるようになる。

④期待されるC・Bの効果

①人間性の回復

②社会問題の解決

- ・地域ニーズに合った市民サービスが提供される。
- ・地域の社会問題解決にビジネスの視点を適度に入れることにより、継続性がつくられていく。

③経済的基盤の確立

- ・地域に対する投資が始まる。
- ・地域資源の活用、循環
- ・雇用の維持・創出

④文化の継承・創造

知恵やノウハウが継承されていく。

この4つがそれぞれ支えあう形でコミュニティの自立を促していく。

⑤C・Bを支える人づくり

C・Bは、地域で顔の見える関係の中でそれを支える人々が必要です。格差が広がるなかで、ちょっとした支援者をつくり、サポーターがいたり、とこのような仕掛けがあれば芽が育ちます。

縦割り社会のため、なかなか横串が刺せない、地域で一体感がでない状況にあ

るが、これからC・Bをおこしていくためには、意識的にこのような支える人たちをつくっていくことが重要です。

⑥地域コミュニティから資金調達も可能

- ・スピカ パン債
- ・茨城NPOセンター とらい債（コミュニティレストランの資金）
- ・ア・ラ・小布施 宿泊クーポン（建設債）（ゲストハウスの資金）
- ・群馬県 愛県債（県立病院医療機器購入資金）

⑦C・Bの先進事例

【社会福祉】

- ・さいとう工房 障害の度合いに応じた電動車椅子販売
- ・c a f e 大好き（東京・調布）
- ・でてこいフォレスト（青森県下田市）ショッピングセンター内のデイサービス

【環境】

- ・雨水サクル研究会（東京・墨田区）高齢者の得意技（桶づくり）を活かす
- ・ユーズ てんびら廃油回収・ディーゼル油
- ・ドンカメ（栃木県・商工会）生ゴミ回収・有機肥料・地産地消・食育

【情報ネット】

- ・すみだリバーサイドネット（東京都墨田区）子育て中の母親の作成したHPで域内の中小企業等の情報発信し、女性の起業支援。

【商店街の活性化】

- ・アモール東和（東京都足立区）地域サービス会社（二足わらじをはく）

【食品加工】

- ・小川の庄（長野県小川村）おやきの製造販売で高齢女性の社会参加。

【観光交流】

- ・花農場あわの（栃木県宇都宮）ハーブ園の農村レストランで女性起業など

⑧成功のポイント

- ・C・Bに携わる地域の人々の「自分おこし」（そこに住んでいる人たちの自己実現になっているか）に貢献しているか。
- ・地域が抱える問題解決に貢献しているか。地域社会の問題についての「暗いつぶやき」の解決にビジネスの視点を入れていく。
- ・結果として、新しい社会関係や協働関係を生み出しているか。横串を刺していく役割。
- ・地域コミュニティへの貢献と事業性のバランスがとれているか。赤字を出さない、マネージャーの育成。

⑨成功への近道

- ・社会起業を意識して、マネージャーとそれを支えるワーカーを育成する。
- ・適任者がいないときは、マネージャーは、公募も可能。
- ・まずは、生活環境の起業化から始める。生活の質の向上を目指すものと取り組むなど。
- ・事業の柱を何本かつくり、全体で収支バランスを計る。
- ・自治体や企業は、積極的にC・Bに業務委託をおこなう。

⑩映像による成功事例

- ・ココ・ファーム・ワイナリー（栃木県足利市）障害者雇用のワイン製造販売
- ・花農場あわの
- ・食堂CR（青森県浅虫）ワンコイン・健康食で高齢者健康づくり
- ・市民風車（青森県鰺ヶ沢町）